

北川の通信

2023年10月8日

vol. 148

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.cocan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

夏から秋に
急変号

10/15 北川クリーンアップに参加ください



東村山の原風景がありました

報告 第26回 北山わんぱく夏まつり

8月6日(日)、第26回北山わんぱく夏まつりが、『自然にどっぷりとつかり、自分の責任で楽しく遊ぼう!』と言う北山わんぱく夏まつり宣言と共に、北山公園・北川で開催となりました。昨年プラス面が多かったことから、今年も北山わんぱく夏まつり実行委員会・東村山市共催、北川かっぱの会協力という体制での実施としました。また、今年は事前の夏まつりPRを、いくつかの新たな方法を導入することにより行ってみました。

熱中症対策のため開催時間を午前中のみとしましたが、カヌー遊び(小学生以上)、北川ウォーク(北山公園水路の生き物観察、幼児は保護者同伴)、北川水族館、ザリガニ釣り、生きもの探し(バイオーム利用)、紙芝居、木工細工等と盛りだくさんのメニューで、地域の自然好き、生きもの好きの家族が遊びに来てくれ、水辺で楽しんでくれる機会になりました。

(次ページへ)



恒例のカヌー遊びは今年も大人気



こちらも人気の紙芝居



魚がいっぱい、北川水族館



アカミミガメの説明も熱が入る



ザリガニ釣りに真剣

今年の夏は過去に例のない連日の猛暑でしたが、当日の天気は運良くそれも若干和らぎ（所沢の最高気温32.7℃）、熱中症にかかる人もなくまた大きな怪我もなく終了することができました。しかし、当日も「熱中症警戒アラート」が発動されて、外出を控える人が多かったせいか、来場者は昨年より減少（特にお昼頃）し、例年大人気で乗りきれない子どもがでてしまうカヌー遊びが、定員に達しないという異例な状況でした。来年以降の開催時期など、自然の中でたくさんの子どもの笑顔が見られるよう様々な課題に取り組んでいきたいと思います。（ビー永島）

報告 今年の魚類調査結果は

北川かっぱの会では、いきものクラブなどのイベント時に北川や公園内で採集した魚類等を展示し、採捕数などのデータをまとめています。

8月に行われたわんぱく夏まつりでの魚類調査結果を、目視による観察も含めて表にまとめました。(公園内の外来種は除く)

・タモロコ、モツゴは、北川では以前(15年程前)と比較すると捕獲数は少なくなってきた。

・もともと西日本に生息していた国内外来種のカワムツ、カマツカがここ数年で増えている。

・メダカは公園内水域の至る所で見られる。

・クロダハゼ(トウヨシノボリ)としてカウントしてきたものに、国内外来種のカワヨシノボリの混在がみられる。今回確実にカワヨシノボリと判別できたのは3個体。この表では判別できなかったものをヨシノボリ属とした。

カワヨシノボリは胸ビレの筋(鰭条)が17本以下だそうです。細かい物が見えづらい年頃の私達にとって、鰭条を数えるのは至難の業でした。

・ドジョウは昔も今も見られる。

実はドジョウも大陸系(中国大陸産)のものが侵入、交雑しているそうです。今回採集したドジョウは全て大陸系の特徴が強く出ているものでした。

判別の仕方は、ぎっくりいうと尻びれから尾びれのまでの距離で見分けます。最初に見分けた人、すごいですよね。

展示した魚類の経年データは北川かっぱの会ホームページ内「北川の調査結果」で確認することができます。



カワムツ



カマツカ

	種名	個体数 (相対数)
魚類	コイ	+
	ギンブナ	4
	オイカワ	35
	カワムツ	30
	モツゴ	10
	タモロコ	6
	カマツカ	9
	ドジョウ	5
	ナマス	+
	メダカ(類)	+++
巻き貝	カワヨシノボリ	3
	ヨシノボリ属	22
	ヒメタニシ	++
	カワニナ	++
エビ	カワリヌマエビ属	++
	テナガエビ	1
	スジエビ	++
	アメリカザリガニ	2
カニ	モクスガニ	1
カエル	トウキョウダルマガエル	5
ヤゴ	ヤゴ類	+

+ 少ない ++ やや多い +++ 多い

かっぱの楽校 生き物講座 第118回 アユ 今年もやってきています

9月なかばに、カッパの会でもお世話になっている魚の師匠に誘われて、昨年までその姿がたびたび確認されている市内前川に、今年のアユの遡上状況を見に行ってきました。徳蔵寺前～武蔵大和駅近くまで、できるだけ川沿いを自転車で移動しながら目視していったのですが…

多数のオイカワやカワムツにまぎれていましたが、「いました」「いました」。
この3種の区別点は、大きいほど分かりやすいですが…

・上から見ると……(下図)アユは背中に黒っぽい細線、カワムツとオイカワは背中(背びれの前)に黄色い太線があるように見える。オイカワは、他に比べ体が幅狭。

・横から見ると……カワムツは体側に黒っぽい太線あり、オイカワは虹色～銀ピカ。アユは背中が暗色だが全体は白っぽく見え、大きいと胸びれの後ろが



黄色く、背びれと尾びれとの間に油びれが見える。
・その他……全長が15cmもあれば前川や北川では多分アユ。よく見ていると、泳ぎ方もアユは他2種とどこか違う。

当日確認できたのは、前川では主に化成小辺りでしたが、なんと！帰途、単独北川に回った師匠から、白十字病院近くで泳ぐアユの写真が送られてきまし

た(私の知る限りでは'北川'では初確認です!)。アユは、秋が深まってくると産卵のために川を下りますので、その前に北川や前川を泳ぐ'清流の女王'を見に行ってみてください。その際は、双眼鏡や偏光フィルター付きのサングラス等があると良いです。

<康>

北山公園の施設改修基本設計の内容について意見交換

9月9日(土)北山公園整備計画等意見交換会(いわゆる「川端会議」)が開催されました。当日は、昨年度の川端会議で意見交換を行い完成形に近づいてきた「北山公園施設改修基本設計」について、設計の概要の説明が行われました。当会から見て、全体的な設計については大きな違和感を感じるものではありませんでした。今回、新たな設計内容として、通年での通水(冬期に24時間通水ではなく時間を決めて通水など)や、現補植田周辺に冬でも水を貯めることのできる場所を作るなどの前向きな提案がありました。また、付け替えを行う水路の漏水対策として、現水田の区間はU字溝を使用するものの、割栗石の活用により生きものの往来ができるような構造とすること、水田が終わったところからしょうちゃん池の区間は遮水シートにより漏水対策を実施し、割栗石や採石、砂などにより多孔質なしつらえにすることという内容でした。水路の付け替え工事は基本的には冬期に実施することから、いきものには大きな影響は出ないと思われました。

北川かっぱの会からは、現在繁茂しているしょうちゃん池の葦や蓮、オオカナダモ対策を実施してほしいことなどについて要望しました。参加者からは、付け替える水路について、民有田の区間を除き、基本的にはどの区間も子どもが立ち入ることができるようにしてほしいという要望が出され、市で方向性について検討していくこととな

りました。基本設計の内容は今年度中に固まる方向で検討が続いています。

北川の落差工改善の検討状況

北川の北山公園善行橋下にある魚道の下流側には、前川合流点までに5箇所(小さなダム)があり、魚の遡上が極めて困難な状況にあります。北川かっぱの会では、「アユが遡上する北川」を目標に、北川の落差工の解消を訴え続けてきましたが、このほど、5ヶ所内の1ヶ所、西武園線ガード下の落差工について、魚道を設置し落差工を解消していく方向で、市道路河川課との話し合いを進めてきていました。この話し合いを進めるのにあたっては、2005年に善行橋下で完成した魚道の設置にあたって設計上の助言や施工の指導等をいただいた淡水魚類研究家の君塚芳輝さんのサポートをいただきながら、市と相談してきました。



9月9日(土)に開催の北山公園整備計画等意見交換会では、市道路河川課より、その設計内容の概要について説明が

ありました。設計内容は、水量の少ない川でも魚類等が遡上できるように、川の流れの中心部を低くすること(魚道の横断面をV(U)字状にすること)、遡上する魚類が遡上しやすいように大きめの玉石と窪み(玉石の下流側)を流路に設置していくこと、布製の型枠工としていくことなど、善行橋下の魚道に似た内容となっています。ただし、善行橋下の魚道の流れ方向の勾配(縦断勾配)は1/10でしたが、今回の設計は1/20となっており、魚類等がより遡上しやすい勾配となっています。

施工は晩秋以降を予定し、今年度末の完成を目指しているとのこと。北川かっぱの会では、今後の動向を見守っていきたいと考えています。

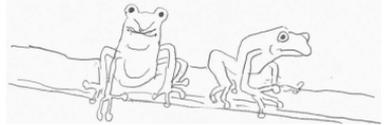
報告 北山小4年生の総合的学習「外来種」を支援

9月22日（金）と10月6日（金）、北山小4年生の総合的学習「外来種」の授業を支援しました。授業はクラスごとに、9月の学習では講義形式で「外来種って何？」、「外来種って何が問題なの？」、北川や北山公園で見られる外来種の紹介、「外来種は悪者なのか」、「どうやって解決したらいいの？」について対話形式で学習しました。

10月の学習では、北山公園で、まず外来植物（セイタカアワダチソウ、ヒメムカシヨモギ）の駆除を体験し、公園内の外来植物ボックスに運びました。そして菖蒲田でアライグマやタヌキ等の足跡を確認しましたが、足跡の数は少な

めでした。最後にかっぱの会が菖蒲田に仕掛けてある網から引き揚げたアメリカザリガニやウシガエル（オタマジャクシ）などを観察しました。アメリカザリガニをつかんだ経験のない児童も、つかむことができるようになりました。

全体的には質問もたくさん寄せられ、外来種への関心の高さがうかがえたと感じています。北山公園や北川などの生物多様性の保全に向け、児童たちの体験学習が大きな力になってほしいと感じました。



報告 北山小土曜講座 八国山虫取りハイク

去る7月22日、今年も毎年恒例の北山小学校土曜講座の虫取りハイクが行われました。

早朝5時に北山小学校の正門前に集合し、総勢15人の子供たちは夜が明けたばかりの八国山緑地へと元気に向かいました。例年ですが、我々虫取りハイクの掟（オキテ）

では、「カブトやクワガタなどの獲物は第一発見者に権利がある」と決めています。そうしないと、体力のある高学年の子が

断然有利になり、低学年の子たちは何もつ捕まえられない事になってしまいます。子供たちはきちんこの「オキテ」を守ってくれました。

今年は前日に雨が降ったせいか、樹液の出が良くなく、樹液に集まる甲虫類が少な目でした。が数人

は立派なカブトムシやクワガタを手にして、目を輝かせていました。こどもたち



ほっこり広場で記念撮影

のその姿を見ていると、いつまでもこの自然環境が守れば良いなと心から願う気持ちになります。ハイクの予定は約2時間程度で、途中ほっこり広場で持参した朝食を

食べました。今年も子供たちの生きいきとした元気な声で早朝の八国山が賑わいました。来年も元気に皆一緒に行こうね！（中谷）

報告北山小土曜講座 北川の魚とり

9月9日土曜日、北山小学校の土曜講座「魚とり」が行われました。薄曇りのお天気の中、親子18人、かっぱの会のスタッフ5名が参加しました。

まずは北山公園の水路です。網で魚を追い込む方法を教わった後、各自網をふるい、エビ、メダカ、ドジョウ、カワニナ、ヤゴ等をつまみ取りました。次に北川です。オイカワ、タモロコ等、たくさんの魚がいますが、すばしこくて、なかなか捕まえるのは大変。それでも、大



きなカマツカをつかまえた男の子もいて、みんなに「すごいね」と褒められ、その子もちょっと誇らしげでした。

ちょうど同時刻に「生きものクラブ」(かっぱの会主催)が開催されていて、そこで水槽に入った生き物を見ながら、北川に住む魚の移り変わりの話を聞いたり、虫(イナゴ、オンブバッタ等)の話も聞いたりもしました。みんな、良い経験ができて良かったね！（藤み）



2023年10月～12月 活動スケジュール

ホはボランティア募集の略、会は会員のみ(の略)性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かっぱの会)または直接会員にお知らせください

以下の活動予定は今後、中止となる可能性もありますので、「かっぱブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

定例川そうじ ㊦

毎月第2土曜 9～11時

11/11、12/9 集合:北山小正門前

秋の北川クリーンアップ

10/15(日)10-12時 北山公園管理事務所前、宅部遺跡橋、または水道橋集合。河川とその周辺の清掃。

長靴、手袋など作業ができる服装で。雨天中止。

北山いきものクラブ

10/14(土)、11/11(土)13-15時 北山公園善行橋付近で開催。北川や北山公園で捕獲した魚類等の展示と魚とりなど。雨天中止。

北山公園の外来生物用のアミ類の点検作業 ㊦

10/14(土) 13-14時頃 北山公園
しょうちゃん池周辺で。小雨決行
10月末頃まで不定期にアミの点検
作業を実施(かっぱブログを参照)

外来生物慰霊祭

11/11(土) 15時頃～北山公園しょう
ちゃん池周辺で。雨天中止。

NPO法人子育て支援ネットワークすずめ

「昆虫と遊ぼう」を支援 ㊦

10/15(日) 9時半-11時半頃 北山
公園で。

かっぱ定例会

11/25(土) 15時-16時半頃 (サンパ
ルネ3階) 12月頃～の活動予定を
中心に検討します。

ご寄付に深謝!

北山わんぱく夏まつり、7月と9月
の北山いきものクラブで多くの方
から寄付をいただきました。あり
がとうございます。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケース
として、北山公園周辺の北川が変わ
りつつあります。21世紀の未来の川
の姿を探る一冊。頒価1000円 送料8
2円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』
北川公園、八国山を歩くための地図。
流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両
面版 頒価200円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』
A2両面版の生き物ミニ図鑑と解

説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。
北川・八国山・北山公園では、どこ
にどんな生き物が見られるか、環境
ごとに誰もが普通に見られる種を主
体に示したマップ。観察会などイベ
ントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山
公園一帯の緑の保全とその前を流れ
る北川の清流復活という夢をもって
作られた会です。自然と野外の遊び
が大好きで、趣旨に賛同、活動に参
加できる方(参加、入退会自由)を広
く募集しております。

- 会費 一般会員:年間3000円
支援会員:2年間で2000円
学生は2年間で1000円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

[http://kitagawakappanokai.
cocolog-nifty.com/blog/](http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/)

●会費振込先

〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図
書館に置いています。

●編集後記 この頃の季節、「急に」や
「とても」が多い。社会の変化が激しいの
はわかるけど季節の移ろいまでそれに合わ
せるごとく、それは変だよ。(遊星齒車)

●発行:北川かっぱの会
連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

